

荒牧町だより

第152号
荒牧町自治会
広報委員会

【自治会定期総会のお知らせ】
自治会では、平成27年度を迎えるにあたり、定期総会を開催いたします。

日時 平成27年3月14日(土)

午前9時30分

会場 荒牧町公民館

「協議事項」

- 一、平成26年度事業報告及び収支決算報告
- 二、平成26年度会計監査報告
- 三、平成27年度副会長の選出について
- 四、平成27年度事業計画(案)及び予算(案)について
- 五、その他

(*定期総会資料は、各組長より全世帯に配布いたします)

【平成27年度第1回組長・地区代表会議のお知らせ】

記

日時 平成27年3月22日(日)

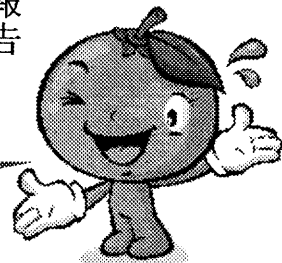
午前10時

会場 荒牧町公民館

「議題」

- 一、組長・地区代表の仕事について
- 二、平成27年度の行事について
- 三、自治会費等の集金について
- 四、会計監査委員の選出について
- 五、その他

平成27年度の自治会役員として、大切な会議になりますので、是非ともご出席方をお願いいたします。



二つとも、とても大切な会議です。
ぜひ参加をしてくださいね~

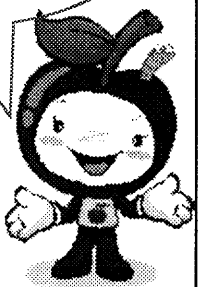
募金ありがとうございました

今年度も、歳末助け合い募金、赤い羽根募金の二つの募金活動にご協力頂きまして誠にありがとうございました。募金額は次のようになりました。

☆歳末たすけあい募金 188,517円 ☆赤い羽根募金 336,426円

この、皆様から頂いた温かいお気持ちで、たくさんの人たちの笑顔をもたらすことと思えます。ご協力に感謝申し上げます。

やさしい心が
うれしいです!



地域で大切にしているお正月行事が行われました

団地お焚きあげ

1月12日(祝)、団地地区恒例のお焚きあげが行われました。各家庭で大切にされてきたダルマやお札を、感謝を込めてお焚きあげをしながら、ご近所の人たちと「あけましてあめでどうぞございます」のあいさつをかわしました。

テントでは、甘酒、豚汁、ミカンが振舞われ、また、くじ引きもあり、集まった人達は、新年を迎えた喜びを、笑顔を交わしながら味わっていました。



荒牧町新田東不動明王様 祭典御礼

1月28日(水)は天候にも恵まれ、早朝より、日輪寺ご住職による火災予防・家内安全のご祈願後、参拝客の受け入れが始まりました。お不動様の前で、一心にご祈願したり、福引をしたり、おでんや綿菓子を楽しんだり、談笑したりする姿が境内に広がり、心温まる平穏な一日でした。これもひとえに参拝の皆様や地区役員、ご協力頂いた皆様のおかげと厚く御礼申し上げます。

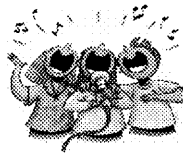
これからも昔から信仰されてきた不動明王様を守っていく所存ですので、今後ともご支援ご協力をよろしく願います。(祭典委員会代表 小池長一)

お不動様のいわれ

お不動様は、元文元年(1736年)建立されて以来、長らく火伏せの神様として信仰されて参りました。明治22年荒牧の村に発生した大火がお不動様の所まで来ると、不思議なことに火勢が急に衰え、近くの二軒と共に延焼を免れた事があったそうです。以来、人々の信仰心はますます厚くなつたと伝えられてきています。



楽しい楽しい長寿会・歌と踊りの集い



『歌と踊りのつどい』が1月24日に、荒牧町公民館において、各サークルの舞台発表が行われました。お馴染みの司会者柄澤様の司会により盛大に開催され、参加者は78名で、参加サークルは、荒牧町民謡クラブ、寿カラオケ愛好会、荒牧カラオケ愛好会、荒牧町有志舞踊会、チェリーポルカ、荒牧町八木節会の6団体と長谷川操様の踊りの7部構成で開催しました。

この中で、今年初めて参加した荒牧町有志舞踊会は、懐かしの赤城国体のテーマソングの上州よいところを踊り、荒牧町八木節会は、伝統的荒牧町八木節を約30数年ぶりに復活させ、元気よく踊り、長谷川操様は、みだれ髪を踊り、皆様より盛大な拍手を頂き盛り上がりました。



また、サプライズとして、荒牧カラオケ愛好会の萩原スミ様が91歳の誕生日で、御子息様より花束の贈呈があり、大変な盛り上がりになりました。最後に柄澤様より、手指によるボケ防止の体操を楽しんで、高齢者教室は終了しました。

健康寿命を長く伸ばし認知症防止にも、歌って踊って体を動かすことが必要と思われます。今後も大いに歌って踊ってください。お疲れ様でした。



誕生日のお祝い

(記：小池)

ドッチビーって？

～南橋地区ドッチビー大会～

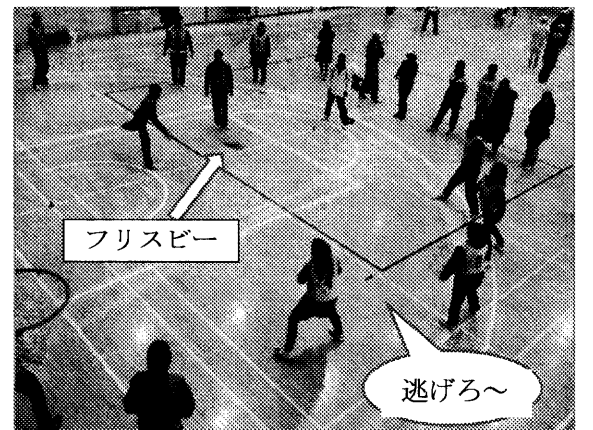
2月8日、南橋中に14町の代表選手が集まって熱戦が始まりました。

ドッチボールのボールの代わりにフリスビーを使い、ドッチボールと同じようなルールでゲームを楽しみます。フリスビーの予想外に曲がる飛球線が楽しさを倍増させていました。

結果は、こどもの部が2位、大人の部が8位でした。頑張りましたね。



ゼッケンつけて



フリスビー

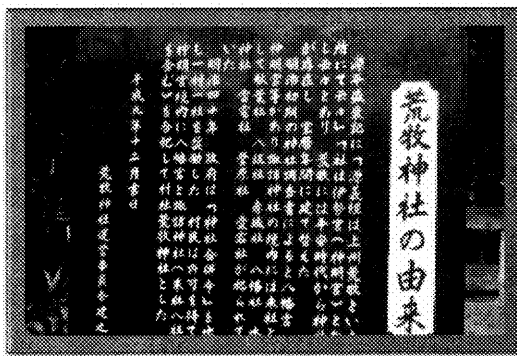
逃げろ～

あらまき町たんけん 35

荒牧神社本殿の西側に秋葉神社を筆頭に、八幡宮・水神社・八坂神社・愛宕神社・雷電神社・菅原神社・三峯神社(天満宮・石碑)の石宮(いしのみや)の八社が祀られている。そして、入口の記念碑によると、明治40年に公布された「神社合併令」の一村一社の方針のもと、「神明宮境内に八幡宮と諏訪神社(末社八社を含む)を合祀して村社荒牧神社とした」と記されている。しかし上記の八社とは異なり、三峯神社ではなく赤城神社が入っている。

また明治8年国からの通達により編集された、内務省地理局へ提出された『勢多郡村誌』の上野国勢多郡荒牧村の中の「社」の項に「村社として諏訪神社と神明社が宿後にあり、上宿の西に八幡社がある」という記述があり、記念碑の最初に見られる三社と合致している。

次に、明治時代初期に記録された検地帳の基になった野帳にいくつかの社に相当する



荒牧神社の由来



名称がある。

先ず「瓜畑の観音堂」、「下宿の天神堂と八幡社」、「宿後の伊勢社と「庚申塔」、「八幡前の薬師堂」、「自性寺前の八幡社」などである。これらは全て荒牧神社にある石宮と一致するものではないが、野帳が記録された当時の検地の見方の一端を窺い知ることが出来る。

いずれにしてもこれら上記の社がどこにあったのか、現在のような石宮か、新田地区のお不動様のように建物があったのかはつきりしない。赤城神社の宮司さんにお伺いしても細部については分からないとの事であった。

しかし、かつての沼田街道の荒牧村の辻々の一角にこれらの多くの社が祀られていたことは、村人たちの信仰と相俟って興味深い。ただ、有難いことに下宿の関口博さん宅の北側の塀に二百八年前のお地蔵様が昔と変わらぬ姿で道行く人達を見守っている。区画整理の際に、ほとんど残った石宮や庚申塔なども、荒牧神社に合祀されたが、このお地蔵さまだけが当時の風情を伝えている。

江戸時代から明治時代への移り変わりの中で当時の荒牧村の証しは残っていないものである。



お地蔵様

(赤松)